新青丸研究航海報告

東京大学大気海洋研究所

＊ 航海番号　　KS-18-13　次研究航海

＊ 観測海域　　（和文）紀伊半島沖の黒潮域
（英文）The Kuroshio region off the Kii Peninsula

＊ 航海期間　　平成30年10月10日（水）～平成30年10月21日（日）

＊ 出港日時・場所　　10月10日14時　東京晴海港

＊ 入港日時・場所　　10月21日10時　横須賀港

＊ 寄港期間・場所　　無し

＊ 航海の研究題目　（和文）船舶･海底地震計･陸上同時連携観測による黒潮域の大気･海洋短周期変動過程の実態解明
（英文）A simultaneous and integrated observation from the ocean bottom to the atmosphere to elucidate short-period processes related to the air-sea interaction in the Kuroshio region

＊ 主席研究員（氏名・所属・職名・e-mail アドレス ◎は@）
小松幸生・東京大学大学院新領域創成科学研究科・准教授・kosei◎aori.u-tokyo.ac.jp

＊ 研究内容，主調査者（e-mail アドレス），観測項目

１．船舶・海底地震計・陸上同時連携観測体制の構築とこれによる黒潮域の大気海洋相互作用の実態解明
小松幸生（kosei◎aori.u-tokyo.ac.jp）
CTD/LADCP、多項目ブイ、気象ゾンデ、GNSS 水蒸気計、大気海洋境界フラックス計、レーダ波高計

２．海底地震計による大気・海洋短周期変動推定手法の精度検証
小松幸生（kosei◎aori.u-tokyo.ac.jp）
CTD/LADCP、気象ゾンデ、GNSS 水蒸気計、大気海洋境界フラックス計、レーダ波高計

３．大気海洋境界過程の自動連続観測システムの運用試験

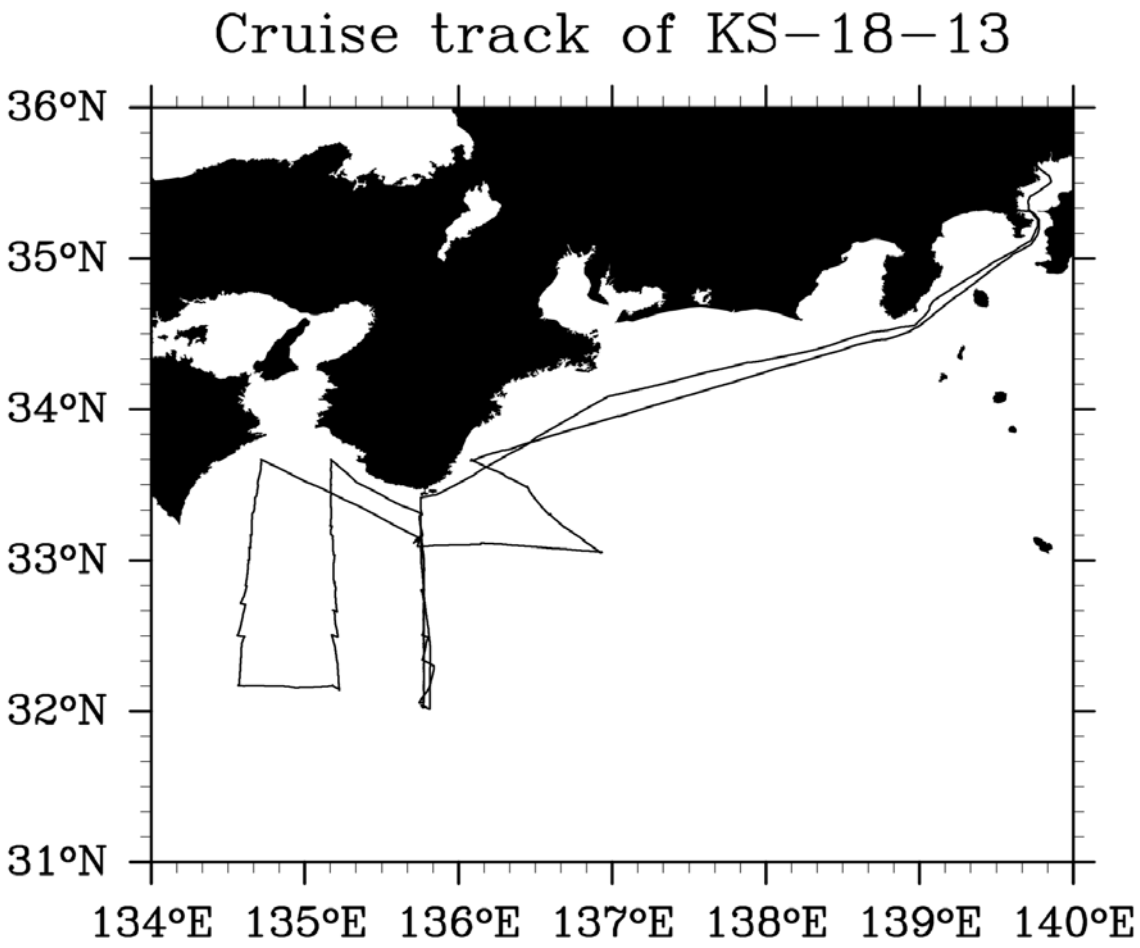
小松幸生（kosei◎aori.u-tokyo.ac.jp）
GNSS 水蒸気計、大気海洋境界フラックス計、レーダ波高計

４．黒潮内側域のサブメソスケール過程による栄養塩供給機構の解明
小松幸生（kosei◎aori.u-tokyo.ac.jp）
UCTD、CTD/LADCP、船底 ADCP

＊ 乗船研究者氏名・所属・職名

小松幸生・東京大学大学院新領域創成科学研究科・准教授
松村義正・東京大学大気海洋研究所・助教
藤井孝樹・東京大学大気海洋研究所・大学院生
田沼夏美・東京大学大気海洋研究所・大学院生
尾松弘嵩・東京大学大気海洋研究所・大学院生
黒山真由美・東京大学大気海洋研究所・大学院生
根田昌典・京都大学大学院理学研究科・助教
柳瀬友朗・京都大学大学院理学研究科・大学院生
相木秀則・名古屋大宇宙地球環境研究所・准教授
廣江　豊・水産研究教育機構西海区水産研究所・主任研究員
木下武也・海洋研究開発機構基幹研究領域・研究員
末藤菜保・弘前大学大学院理工学研究科・大学院生
関　陽平・三重大学大学院生物資源学研究科・大学院生

＊ 航跡・測点図


Cruise track of KS−18−13
36°N
35°N
34°N
33°N
32°N
31°N
134°E
135°E
136°E
137°E
138°E
139°E
140°E